

水素の社会実装を現場で学ぶ

水素エネルギー先進企業 視察会

山梨県営の研究開発拠点と清水建設のイノベーション拠点を訪問

- グリーン水素の研究開発・実証と社会実装に取り組む2つの拠点を訪問します。
- 水素の社会実装に関する施設・設備を現地視察することで、自社での活用イメージを具体化することができます。
- 技術開発を進める担当者との意見交換を通じて、今後の自社への導入や事業参画へ向けたビジネスマッチングの機会も提供します。

開催日時

2026年11月10日（火）～11月11日（水）

行程等の詳細は、確定後に参加者へご案内します。

視察予定先

- ・ 1日目 | 米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ（Nesrad）（山梨県甲府市）
 - ・ 2日目 | 清水建設『温故創新の森 NOVARE』（東京都江東区）
- ※ 現地までの交通費、宿泊費等は参加者負担

視察プログラム | 1日目

12:15～13:00

移動 | 甲府駅（集合）～ 借り上げバス（移動）～
米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ（Nesrad）

13:00～17:00

Nesradの視察と水素関連企業・団体との意見交換

米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ（Nesrad）を訪問・視察し、山梨県庁や一般社団法人FCyFINE PLUS（山梨大学）による取組紹介等、山梨県内の水素関連の産官学関係者と意見交換。

任意参加

懇親会（甲府市内で調整予定）

視察プログラム | 2日目

13:00～15:30

集合 | 清水建設（温故創新の森 NOVARE）の視察と意見交換

水素エネルギー利用システム「Hydro Q-bic」の見学や水素関連の担当者との意見交換を通して、水素活用や実装のイメージを具体化。

15:30

現地解散

※ プログラムは現時点の想定であり、変更の可能性があります。

申込方法等は裏面をご確認ください



この視察で得られること



水素の実証実験や社会実装の一連を体系的に理解

山梨県・大学・民間企業等の視点から、研究開発、実証、事業化に向けた取組みを一連で学べます。



先進施設・設備を現地で確認

Nesradの実証環境とNOVAREのイノベーション拠点を訪れ、技術の活用イメージを具体化できます。



自社での活用・連携の可能性を具体化

担当者との意見交換を通じ、導入条件や事業参画、共同検討の可能性を探ることができます。

2つの先進拠点を巡り、技術・実装・事業化の視点を一度に学べます



こんな企業・団体におすすめ

1

水素エネルギーの活用を検討している企業

脱炭素やエネルギー転換に向け、水素の導入条件や具体的な活用方法を知りたい企業。

2

水素関連事業への参入・連携を目指す企業

技術・設備・サービスを活かし、先進企業や研究機関との連携可能性を探りたい企業。

3

水素社会実現や水素の地産地消を目指す企業

水素社会実装や産官学連携の進め方を学び、今後の施策・事業に活かしたい企業・団体。

視察会参加申込方法

- 「香川県電子申請システム」から必要事項を入力の上、お申し込みください。
https://apply.e-tumo.jp/pref-kagawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14625
- 各企業・団体様ごとの参加可能人数は2名までとさせていただきます。
- お申し込みいただいた方には、申込み後にアンケートシートの作成をお願いします。



お申し込みいただいた情報は、本視察会の運営管理のため、運営事務局(株)電通総研と共有させていただきます。

また、今後、香川県から脱炭素等に関する情報提供のため、メール等をお送りする際に使用させていただく場合があります。

申込みはこちら

申込期限：令和8年10月27日(火)
(定員に達し次第終了)

■申込先・問合せ先

香川県環境森林部環境政策課カーボンニュートラル推進室 再エネ・GX推進グループ

ADDRESS : 〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号

TEL : 087-832-3215

FAX : 087-806-0227

E-mail : kankyoseisaku@pref.kagawa.lg.jp